



発展期 1983年 マイティボーイ



1983年2月（SS40T型）

■主要諸元（発売日 1983年2月14日）

- エンジン型式：水冷4サイクル3気筒
- 総排気量：543cc
- ミッション：4AT/2AT/5MT4車
- 最高出力：28ps/6,000rpm
- 最大トルク：4.2kg-m/3500rpm
- 車両重量：540kg~560kg
- 発売当時価格：420,000円~



●マイティボーイミニカー



- 内装は初代アルトと同パーツを使用
- 2015年東京モーターショー出品車

「マイティデッキ」後継車種を予感させました。

「クルマは楽しくなければ」というスズキの自由な発想かつ遊び心満載の1台でした。四輪車として最安価の45万円の価格を実現したベースグレード「PS-A」と荷台を覆うデッキカバー（幌）を装備した上級グレード「PS-L」の2タイプをラインナップ。1985年2月にマイナーチェンジされ丸目から四角目に。当時のチラシには「遊びごころを直撃」と謳われており、そのDNAは現在発売中のスペシアギアに受け継がれています。

1982年2月に発売された当時のセルボ（2代目）をベースにしたピックアップトラックに仕上げた1台です。車名の意味は『力強い少年』。商用4ナンバー規格の2シーター仕様で当時の軽自動車の最安価の45万円（ベースグレードPS-A）でリリースされました。コンセプトは「アメリカ風の楽しいクルマ」、「少ないお金で目立ちたい！！」で発売時の広告キャッチコピーは「スズキのマー坊とでも呼んでくれ」でした。

荷台の全長は660mm、最大積載量は200kg。キャビンも広くシートの後ろには収納スペースがありシートリクライニングやスライドも可能なスポーティ&クーペトラックでした。リヤサスペンションは固め設定で1985年にはマイナーチェンジされヘッドライトが角形に変更、1988年12月まで生産されました。2015年の東京モーターショーでは後継車種？を予感させる『マイティデッキ』が参考出品されました。

1983年（昭和58年）のできごと

1・9 日本テレビ「スーパージョッキー」放送開始

4・4 NHK 朝の連続テレビ小説「おしん」放送開始

4・15 東京ディズニーランド開園

7・15 任天堂が「ファミコン」を発売

10・17 スズキ自動車工業が「カルタス」発売